

第2回策定委員会の意見への対応(都市マス)

No	指摘・意見	対応方針	該当ページ
(1)上位・関連計画及び(2)課題の整理			
1	佐藤委員 土地利用、都市環境についての目標が未達成とのことだが、ロードマップやアクションプランをつくり、年度ごとの進捗管理が必要になると思う。	ロードマップやアクションプランによる進捗管理について検討していきます。	
(2)都市計画マスタープランに係る現況把握と基本的課題の整理			
2	林委員 住居系市街地は、活力という観点からいくと重要な施策であるため、強い意思を持って進めていくべきだと思う。	将来都市構造図に住居系新市街地ゾーンを位置づけるとともに、土地利用の方針で新たな住宅地の形成について記載することにより、計画に基づいて住宅地の確保を図っていきます。	
3	竹内委員長 都市計画マスタープランに市街化編入について記述することも考えて良いと思う。	住居系新市街地ゾーンの文章に「市街化区域への編入を視野に入れ、名古屋駅への高いアクセス性、、、」に修正しました。	P23
4	竹内委員長 鉄道の高架化については、まちづくりにとって、どのような効果があるかを考える必要がある。中大通線や駅前広場の方向性が重要で、駅周辺整備のイメージを形づくってから高架化を言う必要がある。	国府宮駅周辺再整備にかかる検討会、開発研究会で検討されている成果を踏まえながら、検討していきます。 また、重点地区(仮)として国府宮駅周辺の整備方針を別枠で設け、中大通線や駅前広場の方向性にも触れる予定です。	
5	水野委員 代理:今川氏 高架化ありきでまちづくりを考えるのではなく、高架化が最善かどうかを検討する必要がある。	国府宮駅周辺再整備にかかる検討会、開発研究会で検討されている成果を踏まえながら、検討していきます。 また、重点地区(仮)として国府宮駅周辺の整備方針を別枠で設ける予定です。	
6	竹内委員長 将来都市構造図で、中大通線は連携軸には入っていないが、まちづくりとしては、中大通線をどうしていくかが大事だと思う。公共交通を考えると中大通線を通すべきだと思う。南大通線の連携軸としての位置づけは長すぎかもしれない。もう少しきめ細かく配慮をした図面にしても良いのではないか。	連携軸は市内外をつなぐ広域的な交通軸として位置づけているため、都市計画道路の全区間を位置づけています。 中大通線については鉄道高架後にはそのポテンシャルが向上することから、中心市街地及びその周辺における中心的な軸として位置づけを検討します。	
7	嶋田委員 今年5月にバリアフリー法が改正されており、各市町村がバリアフリーの計画をつくっていくことになっている。もう少しバリアフリーについて言及しても良いのではないか。	都市づくりの目標の■便利な生活を安心・安全におくることができる都市づくりに「、、バリアフリー化の促進などにより、便利な生活を、、」を追記。 ■歩行者及び自転車の通行空間の確保の中にもバリアフリーについて言及しました。	P16 P36
8	嶋田委員 道路整備の方針で、地区道路という表記があるが、言葉の使い方を検討したほうが良い。	地区道路は、幹線道路のうち、地区幹線道路、補助幹線道路をあわせた総称とし、説明を付け加えました。	P35
9	嶋田委員 連携軸という言葉は交通軸を意味しているのか、地域のつながりを意味しているのか、整理が必要だと思う。	連携軸は市内外をつなぐ広域的な交通軸として位置づけています。	
10	竹内委員長 この時期に改定することを考えると、防災は重要だと思うので詳細に検討することが必要だと思う。	■災害時における都市機能の確保で事前復興まちづくりについて言及しました。また、 ■防災に配慮した市街地整備として項目を増やしました。	P45
11	千頭副委員長 市街地については、新市街地拡大や密度が低い市街地の対応、地域拠点の維持を市全体の論理として整理していけば良いと思う。	今後10年で目指す将来都市構造で冒頭に、市全体の都市づくりの考え方について文章を追記しました。	P22

No		指摘・意見	対応方針	該当ページ
12	竹内委員長	工業地の方針について、産業構造の変化を踏まえた書き方になっていない。	■名鉄国府宮駅及びJR稲沢駅周辺の働く場としての機能充実として項目を増やしました。	P30
13	竹内委員長	地域公共交通の基本方針として立地適正化計画を策定することを記述できるのではないかと。そこで重要なのは公共交通の基幹軸であり、JR稲沢駅から名鉄国府宮駅、市役所、名鉄森上駅へつなぐ路線は重要だと思う。	立地適正化計画の考え方を踏まえ、将来都市構造における拠点形成とあわせたネットワークを構築することから、今後10年で目指す将来都市構造のリード文で市全体の都市づくりの方向性を記載しました。また、■地域公共交通によるネットワーク形成において、立地適正化計画に関連深い公共交通網の形成について検討することを追記しました。	P22 P38
14	竹内委員長	中大通線、駅前広場、特に国府宮神社と国府宮駅の間は大変シンボリックであるため、今後どうするかを議論してもらいたい。	国府宮駅周辺再整備にかかる検討会、開発研究会で検討されている成果を踏まえながら、検討していきます。 また、重点地区(仮)として国府宮駅周辺の整備方針を別枠で設ける予定です。	
15	内藤委員	国府宮まで行くのにコミュニティバスが使いにくい。歳をとってくると住みづらく感じてくる。	コミュニティバスは経費との調整を図りながら、利用者の実態やニーズを踏まえ、今後も改良していく必要があるため、■地域公共交通によるネットワーク形成で「…「稲沢市コミュニティバス運行事業計画」を適宜見直します。」と記載します。	P38
16	渡邊委員	鉄道の高架化については、進めていくべきだと思う。	国府宮駅周辺再整備にかかる検討会、開発研究会で検討されている成果を踏まえながら、検討していきます。	